

# 2023 年度 S セメスター履修手続きについて（法科大学院）

## 1. 履修手続関係日程について

日 時	内 容
2月27日(月)10時 ～ 3月7日(火)16時	「法のパースペクティブ」「上級商法2」 「刑事模擬裁判」「民事弁護研究」 「民事事実認定論」各申込期間 <b>提出期間A</b>
3月16日(木)	上記科目のクラスおよび許可者発表（ガラス棟掲示板に掲示 およびTKCに掲載） 所属クラスの発表（ガラス棟掲示板に掲示およびTKCに掲載）
3月10日(金)9時 ～ 3月17日(金)16時	「労働法」・演習 各申込期間 <b>提出期間B</b> ※夏季集中科目「演習（東アジア比較労働法）」については別期間で募集・履修登録を行う
3月24日(金)	「労働法」・演習許可者発表（掲示・TKC） ※追加募集がある場合には同時に掲示する
4月5日(水)	授業開始
4月5日(水)9時 ～ 4月11日(火)16時	「研究論文」・3年次科目履修・ 他研究科等科目履修 各申込期間 <b>提出期間C</b>
4月5日(水)～4月13日(木)	Webによる履修登録手続期間
4月14日(金)9時 ～ 4月21日(金)16時	履修登録訂正期間 （この期間中に他研究科等科目履修の可否を発表）

## 2. 履修登録手続について

- ① 所定の期間内に、UTAS にログインし、Web 上で履修登録すること。履修登録期間中であれば、登録の変更は可能である。  
なお、例年、Web による履修登録手続期限間近に突然PC等が壊れ、登録ができなかった等の報告が大学院チームに寄せられるが、そのようなことのないように、各自PC等の管理を徹底すること。また、登録は時間に余裕を持って行うこと。
- ② Web 上での履修登録を行わない科目の履修手続きについては以下のとおりである。**手続日程に留意し、各申込フォームに必要事項を入力・送信すること。**なお、申込フォームは、法科大学院ホームページ（<https://www.ju-tokyo.ac.jp/law/students/registration/>）に掲載する（2月下旬予定）。ECCS クラウドメールにログインの上、手続きを行うこと。

## 提出期間A

### ・「法のパースペクティブ」（2年次配当）、「上級商法2」（3年次配当）

これらの科目は必修科目であるので、各配当年次の学生は全員手続きを行う必要がある。なお、クラス毎に履修者数の制限があり、希望者が多い場合には抽選で履修者を決定することがあるので、第3希望まで入力し、必ず申し込むこと。

- ※ 再履修者も必ず申し込むこと。
- ※ 申請後に、申請内容を修正したい場合は、再度、申込フォームから手続きを行うこと。  
なお、その際、備考欄に修正の旨を入力すること。
- ※ クラス発表後、大学院チームで一括してUTASに登録する。

### ・「刑事模擬裁判」「民事弁護研究」「民事事実認定論」

これらの科目については、履修人数制限によって事前申込制とするものである。撤回は原則として認めないので、熟考のうえ申し込むこと。

- ※ 許可者発表後、大学院チームで一括してUTASに登録する。
- ※ 原則、履修できるのは1人1科目だが、「**刑事模擬裁判**」と「**民事事実認定論**」については制限人数内であれば、**両方（2科目）を履修することが可能である。**追加募集を行う場合は「**民事弁護研究**」を含め2科目以上を履修することが可能となる。
- ※ 申請後に、申請内容を修正したい場合は、再度、申込フォームから手続きを行うこと。  
なお、その際、備考欄に修正の旨を入力すること。
- ※ **2019年度より、Aセメスターに開講する「民事模擬裁判」と上記「刑事模擬裁判」の両方を履修することが可能となった。**

## 提出期間B

### ・「労働法」

「労働法」においては、クラス分けを行うため、Webによる履修登録によらず、「労働法」申込フォームに必要事項を入力・送信を行うことにより履修登録を行う（希望者は必ずどちらかのクラスに割り振られる）。履修希望者はこの期間に申し込むこと。

クラス発表は、3月24日（金）にガラス棟掲示板・TKCにて行う。

- ※ 1年次生の履修は認められない。
- ※ 許可者発表後に、大学院チームで一括してUTASに登録する。
- ※ 申請後、申込期間中に申請を撤回したい場合は、再度、申込フォームから手続きを行うこと。  
（必要事項を入力し、「申し込みを撤回する」を選択して、送信すること。）
- ※ 履修許可後の撤回に際しては、担当教員の許可を得ること。

### ・演習

演習形式の科目についてはそれぞれ定員があり、希望者全員が履修できるとは限らない。

また、この期間中の演習の申込は、1人1演習のみに制限される。複数の演習を希望する学生は、演習許可者発表後、追加募集をする演習に改めて申込をすること。

なお、許可された演習の撤回は原則として認めないので、熟考のうえ申し込むこと。

また、修了要件単位数に算入できる演習の単位数の上限（8単位）を越えないこと。

- ※ 許可者発表後、大学院チームで一括してUTASに登録する。
- ※ 申請後に、申請内容を修正したい場合は、再度、申込フォームから手続きを行うこと。  
なお、その際、備考欄に修正の旨を入力すること。
- ※ 夏季集中科目「演習（東アジア比較刑事法：韓国法・台湾法）」については、別期間で募集・履修登録を行う

## 提出期間C

### ・研究論文

希望する指導教員の承認を得てから、「研究論文」申込フォームに必要事項を入力・送信すること。

※ 大学院チームでUTASに登録する。

※ 申請後に、申請内容を修正したい場合は、再度、申込フォームから手続きを行うこと。  
なお、その際、備考欄に修正の旨を入力すること。

### ・他研究科・他専攻等科目履修

他研究科・他専攻等科目の履修を希望する者は、期間内に「他研究科・他専攻等科目履修」の申込フォームに必要事項を入力・送信すること。履修の許可・不許可については専攻長が判断し、結果は履修登録訂正期間中に掲示・TKCにて発表する。許可された科目は大学院チームがUTASに登録する。

なお、法律基本科目（法科大学院便覧「授業科目表」中の科目群①）に類する科目、学部科目及び学部との合併科目、また、法科大学院科目との合併科目の履修は認められないので申請しないよう留意すること。

※ 法科大学院便覧の「他専攻・他研究科の授業科目の履修」の項をよく読んだ上で申し込むこと  
※ 各学期4単位を超える履修はできないが、4単位を超えて申し込む場合には、優先順位を付すこと。許可された科目のうち、大学院チームが優先順位の高いものから順に、4単位を上限にUTASに登録する

※ 補講や授業の振替等により、法科大学院科目の授業と他研究科・他専攻科目の授業とが重なった場合には、法科大学院科目の授業への出席を優先すること。

※ 申請後に、申請内容を修正したい場合は、再度、申込フォームから手続きを行うこと。  
なお、その際、備考欄に修正の旨を入力すること。

※ 開講先の研究科・専攻で、別途、申込期間や手続きが定められている等により、提出期間Cの期間内にフォームへ申請することが難しい場合は、必ず、提出期間Cの期間内に大学院チームに申し出ること。

### ・3年次科目履修

2年次生で3年次生の授業（選択必修科目・選択科目）の履修を希望する者は、当該授業担当教員に履修許可を得た後、期間内に「3年次科目履修」申込フォームに必要事項を入力・送信すること。申込後大学院チームがUTASに登録する。

なお、1年次生については他学年対象の授業の履修は認められないので留意すること。

※ 申請後に、申請内容を修正したい場合は、再度、申込フォームから手続きを行うこと。  
なお、その際、備考欄に修正の旨を入力すること。

## 3. 履修登録の訂正について

### 履修登録訂正期間

履修登録した科目の訂正を希望する場合は、「履修登録訂正」フォームに必要事項を入力・送信すること。

なお、「提出期間A～C」の科目については、追加登録ができない。（撤回のみ可能）

履修登録訂正期間中に新たに履修科目を追加する場合、履修登録訂正期間前の当該科目における授業欠席について特別の配慮をすることは無いので十分に留意すること。

※ 申請後に、申請内容を修正したい場合は、再度、申込フォームから手続きを行うこと。  
なお、その際、備考欄に修正の旨を入力すること。